

臨床心理室

廣常秀人

経緯

大阪医療センターにおける臨床心理士は、1999年まで精神科の非常勤1名で心理テストを主な業務としていた。同年3月よりエイズ予防財団より臨床心理士1名が感染症内科に配置され、HIV陽性者やその家族等の心理相談や心理テストなど臨床心理学的支援をおこなってきた。2005年には、常勤臨床心理士が採用され4名体制となった。精神科、感染症内科、小児科と配属されている診療科ごと支援を行ってきたが、2005年10月31日に1階地域医療連携室の向かいに相談室2部屋とスタッフルーム1室が開設され、心理相談室が一箇所に集約された。

2007年7月には、①理念に基づく事業であること、②質の高い医療の提供に貢献すること、③疾患と心理状態の関連が研究されていること、④医療者－患者関係と保健行動との関連で医療の効果が左右すること、⑤診療科間のサービスの格差をなくすことの5点の目的や理由により、精神科や感染症内科、小児科に限らず、全診療科の患者やその家族等に対応可能な臨床心理室として再編された。スタッフも2009年度には、常勤3名、非常勤2名、リサーチレジデント2名と7名体制となった。

スタッフ

臨床心理室長：廣常秀人（兼精神科科長）

常勤スタッフ：仲倉高広（主任）、森田眞子、安尾利彦、非常勤スタッフ：大谷ありさ、藤本恵里、リサーチレジデント：倉谷昂志、宮本哲雄

主な業務内容（2010.4.～2011.2.末現在）

心理相談：総計3,185件（感染症内科：2,125件、精神科：249件、小児科：219、がんサポート：143件、その他：449件）。昨年度2月末は2,784件で401件増加している。新規の心理相談件数は、総計159件（感染症内科：106件、精神科：7件、小児科7件、がんサポート：24件、その他：21件）。昨年度2月末は159件であり6件の微増であった。

心理検査：総計178件。主に、脳外科、小児科、精神科より、神経心理学的検査や発達検査。昨年度2月末242件であり、64件の減少となった。昨年度途中より成人の認知機能検査は言語聴覚士により実施することとなったためと考えられる。

感染症内科初診時と1年後におけるメンタルヘルスクリーニング検査や感染症内科初診時の神経心理学的検査を実施している。

今年度より薬害エイズ遺族の心理相談を実施している。

臨床心理室運営会議は計3回行い、全診療科対応の臨床心理室運営の円滑を目指した。

メンタルヘルス相談として、近畿管内の国立病院機構職員や学生のメンタルヘルス相談を常勤臨床心理士にて行っている。

リエゾン・コンサルテーション：感染症内科カンファレンスやがんサポートチームカンファレンスへの参加

教育研修：院内研修や院外組織での研修講師、学会発表、臨床心理学専攻の大学院院生4名の実習生受け入れ、実習指導を行った。他職種の研修会講師として協力した。

カンファレンス（事例検討）：毎週木曜日、インテークカンファレンス：毎週金曜日

研究活動（厚労科研の研究分担者や研究協力者として4タイトル担当、別紙参照）

臨床心理室セミナー：「患者の話を聴くことから何が生じるか」、伊藤良子先生（学習院大学教授）、「心理臨床からみた患者理解」乾吉祐先生（専修大学）、「虐待について～心理臨床から」手塚千恵子先生ら（大阪市立総合医療センター）を講師として招き、計133名の院内スタッフの参加を得た。

今後も全診療科と協力しつつ、患者や家族等の臨床心理学的支援の充実に努めていくとともに、総合病院における臨床心理士のモデルとなるような実践と研究を行っていく。

【2010年度研究発表業績】

A-2

仲倉高広、宮本哲雄：HIV看護とカウンセリング『心理臨床的支援の方法』－カウンセリングのすすめ』菅佐和子編、99-110、新曜社、2010年4月

A-6

倉谷昂志：職業としての心理学・総合病院における心理職の専門性について—2年間勤めて今感じること—「追手門学院大学心理学論集」19：P48-50、2011年03月

B-3

仲倉高広：身体疾患と心理療法的関係の維持 —「サイコセラピストの行動化」への誘惑と、その保持によって—クライアントや医療者への「支援」に活かすことについて—。日本心理臨床学会第29回春季大会ワークショップ、東京、2010年5月

仲倉高広：医療におけるカウンセリング体制とは？—導入から定着までの課題と展望—。日本応用心理学会第77回大会シンポジウム、京都、2010年9月

B-4

仲倉高広：故意に自らの健康を害する依存症的な性行動が繰り返された男性と性行為を行う男性（MSM）の心理療法について～風景構成法を用いた一事例を通して～。日本ヒューマン・ケア心理学会第12回大会、東京、2010年7月

宮本哲雄：HIV/AIDS 医療における大阪医療センターでのカウンセリング状況について、日本ヒューマン・ケア心理学会第12回大会、東京、2010年7月

仲倉高広：故意に自らの健康を害する依存症的な性行動が繰り返された HIV 陽性者の心理療法について～永遠の少年の元型的イメージとイニシエーションの視点からの考察～。日本心理臨床学会第29回秋季大会、宮城、2010年7月

藤本恵里：女子大学生における摂食障害傾向と自己抑制との関連について。第29回日本心理臨床学会秋季大会、宮城、2010年9月

安尾利彦、仲倉高広、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、吉田哲彦、疇地道代、廣常秀人、白阪琢磨：全国の精神科診療施設における HIV 感染症患者の診療状況に関する研究。日本エイズ学会学術集会総会、東京、2010年11月。

大谷ありさ、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄、垣端美帆、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨、廣常秀人：初診時から1年後の HIV 感染症患者のメンタルヘルス。第24回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010年11月

倉谷昂志・上平朝子：ある心理面接過程から捉えた HIV 感染症患者が感じる孤立感について。第24回日本エイズ学会学術集会、東京、2010年11月

藤本恵里、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、倉谷昂志、宮本哲雄、垣端美帆、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨、廣常秀人：HIV 感染症患者における初診時から1年後の心理状態と生活に関する研究。第24回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010年11月

宮本哲雄、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、白阪琢磨：HIV 脳症の認知/運動機能障害の査定に関する研究、第23回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010年11月

B-6

安尾利彦、仲倉高広、大谷ありさ、倉谷昂志、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、吉田哲彦、廣常秀人、白阪琢磨：近畿ブロックの精神科診療施設における HIV 感染症患者 の診療経験および診療意思に関する研究。近畿エイズ学術研究会、大阪、2010年6月。

B-8

仲倉高広：臨床心理学特論。売価女子大学大学院非常勤講師、大阪、2010年4月～12月

安尾利彦：メンタルヘルスについて。大阪医療センター附属看護学校、大阪、2010年4月

安尾利彦、森田眞子、太谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、宮本哲雄：自己理解・他者理解。大阪医療センター、1年目研修。大阪、2010年5月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2010年5月

仲倉高広、宮本哲雄：対人関係。非常勤講師、2010年度認定看護師教育課程、皮膚排泄分野、京都橘大学看護教育研修センター、京都、2010年6月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2010年6月

倉谷昂志：患者の心理とその支援。松原高校施設見学プログラム、大阪、2010年6月

宮本哲雄：忍頂寺小学校の生徒に対する心理士の仕事の講演、大阪、2010年6月

倉谷昂志、宮本哲雄：薬害遺族相談員研修会コメンテーター、大阪、2010年7月

安尾利彦：患者の心理とその支援。訪問看護師研修、岐阜、2010年7月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2010年7月

安尾利彦：HIV感染症とセクシュアリティ。京都文教大学、京都、2010年8月

安尾利彦：カウンセリング。保健師助産師実習指導者講習会、大阪、2010年9月

仲倉高広：患者の心理とその支援。訪問看護師研修会、永野、2010年9月

仲倉高広：薬物依存。平成21年度HIV感染症医師実地研修会（1ヶ月コース）、大阪、2010年10月

仲倉高広：大阪医療センターにおける現状と臨床心理士の役割。東北ブロックAIDS/HIV心理・福祉連絡会議、宮城、2010年10月

仲倉高広：臨床心理士の仕事～精神科も含めた総合病院での対応。2010年第17回全国医科社保担当事務局研修会、大阪2010年10月

仲倉高広：研修事例をもとにしたカウンセリングの実践・ロールプレイング。患者相談員研修、大阪HIV薬害訴訟原告団、大阪、2010年10月

安尾利彦：事例提供。近畿ブロックHIV医療におけるカウンセリング研修会、大阪、2010年10月

安尾利彦：HIVとカウンセリング。HIV感染症医師実地研修、大阪、2010年10月

安尾利彦：HIV陽性者の心理的支援。HIV/AIDS看護師研修基礎①コース、大阪、2010年10月

安尾利彦：職場のメンタルヘルス。兵庫青野原病院、兵庫、2010年10月

仲倉高広：職場のメンタルヘルス、京都府弁護士会自殺対策授業、京都、2010年11月

安尾利彦：職場のメンタルヘルス。人事院近畿地区課長補佐研修、大阪、2010年11月

安尾利彦：事例提供。心理臨床学会ワークショップ、広島、2010年11月

宮本哲雄：事例提供。「問題領域別カウンセリング支援方法に関する研究」の一環で開催した事例検討会、大阪、2010年11月

仲倉高広：気軽に受けようカウンセリング。遺族相談会、大阪 HIV 薬害訴訟原告団、京都、2010年12月

仲倉高広：HIV 医療におけるカウンセリングを通して見えてくるもの。京都府立鴨沂高等学校、京都、2010年12月

安尾利彦：事例提供。問題領域別外来チーム医療マニュアル作成会議および検討会、大阪、2010年12月

大谷ありさ：事例提供。「問題領域別カウンセリング支援方法に関する研究」の一環で開催した事例検討会、大阪、2010年12月

倉谷昂志：事例提供。HIV 陽性者の心理学的問題に関する支援の検討会議、大阪、2010年12月

宮本哲雄：HIV 陽性者の神経心理学的実態に関する研究説明、東京、2011年1月

仲倉高広、宮本哲雄：患者・家族相談会、大阪 HIV 薬害訴訟原告団、福岡、2011年1月

安尾利彦：チーム医療の実際。HIV/AIDS 看護師研修応用②コース、大阪、2011年1月

安尾利彦：HIV とカウンセリング。HIV 感染症研修会、大阪、2011年1月

安尾利彦：HIV 陽性者の心理的ケア。大阪府池田保健所、大阪、2011年1月

宮本哲雄：HIV 陽性者の神経心理学的実態に関する研究説明、東京、2011年1月

仲倉高広：問題領域別カウンセリング支援方法に関する研究。HIV 感染症医療におけるカウンセリング・心理的支援に関する研究成果を共有する会、東京、2011年2月

仲倉高広：HIV 陽性者の心理学的問題の現状と課題に関する研究。HIV 感染症医療におけるカウンセリング・心理的支援に関する研究成果を共有する会、東京、2010年3月

安尾利彦：カウンセリングの質の担保に関する研究。HIV 感染症医療におけるカウンセリング・心理的支援に関する研究成果を共有する会、東京、2011年2月

安尾利彦：全国精神科診療施設における HIV 感染症患者の診療経験および診療意志に関する研究。HIV 感染症医療におけるカウンセリング・心理的支援に関する研究成果を共有する会、東京、2011年2月

宮本哲雄：奈良県立医科大学の学生に対する心理士の仕事の説明、大阪、2011年2月

大谷ありさ：大阪府立大学就業力育成GPセミナー講師、大阪、2011年3月

B-9

仲倉高広：臨床心理面接とクライアント論（第25回）、HIV 医療における心理療法。放送大学授業番組、千葉、2011年4月～2年間。